

欧州航路コンテナ輸送量 (2015年11月分)¹

1. 欧州往航 (東アジア・東南アジア→欧州)

(1) 輸送量

2015年11月のコンテナ貨物輸送量は、前年比4.3%減の109.4万TEUで9か月連続のマイナスとなった。1-11月の累計では4.4%減の1,343万TEUであった(表1及び別紙(図-1)参照)。

表1 往航の輸送量推移 単位:TEU

	2014年		2015年			
	単月	前年比 (%)	単月	前年比 (%)	累計	前年比 (%)
1月	1,443,287	9.7	1,404,222	▲ 2.7	1,404,222	▲ 2.7
2月	880,934	▲ 5.3	1,168,131	32.6	2,572,353	10.7
3月	1,272,720	16.4	985,598	▲ 22.6	3,557,951	▲ 1.1
4月	1,276,807	9.1	1,178,061	▲ 7.7	4,736,012	▲ 2.8
5月	1,371,207	13.9	1,327,750	▲ 3.2	6,063,762	▲ 2.9
6月	1,380,977	12.3	1,277,829	▲ 7.5	7,341,591	▲ 3.7
7月	1,406,338	8.8	1,308,440	▲ 7.0	8,650,031	▲ 4.2
8月	1,419,277	9.7	1,332,348	▲ 6.1	9,982,379	▲ 4.5
9月	1,257,019	7.2	1,184,281	▲ 5.8	11,166,660	▲ 4.6
10月	1,192,690	4.7	1,168,612	▲ 2.0	12,335,272	▲ 4.4
11月	1,143,938	7.6	1,094,647	▲ 4.3	13,429,919	▲ 4.4
12月	1,355,326	6.1				
計	15,400,520	7.3				

(2) 方面別輸送量

表2 方面別輸送量推移 単位:TEU

	西欧・北欧	前年比 (%)	地中海東部 黒海	前年比 (%)	地中海西部 北アフリカ	前年比 (%)
1月	944,056	0.1	225,976	▲ 7.2	234,190	▲ 8.8
2月	761,890	30.4	202,165	29.5	204,076	45.5
3月	644,800	▲ 21.9	176,625	▲ 24.6	164,173	▲ 23.0
4月	758,340	▲ 7.7	219,099	▲ 4.7	200,622	▲ 11.0
5月	869,602	▲ 2.8	225,758	▲ 2.4	232,390	▲ 5.3
6月	845,406	▲ 4.8	221,553	▲ 10.6	210,870	▲ 14.0
7月	867,613	▲ 7.8	222,194	▲ 5.0	218,633	▲ 5.6
8月	883,653	▲ 6.4	217,897	▲ 5.6	230,798	▲ 5.8
9月	785,862	▲ 5.6	207,498	▲ 3.1	190,921	▲ 9.1
10月	758,074	▲ 4.3	213,623	2.3	196,915	2.9
11月	723,795	▲ 3.7	193,278	▲ 3.7	177,574	▲ 7.2
12月						
計	8,843,091		2,325,666		2,261,162	

¹ この資料で用いる輸送量などの数値は Container Trades Statistics 社が発表したデータ (速報値) を使用している。

(3) コンテナタイプ別輸送量

表3：欧州往航のコンテナタイプ別輸送量推移（2015年5-11月、単位：TEU）

	Jun-15	Jul-15	Aug-15	Sep-15	Oct-15	Nov-15	前年比 (%)	寄与度(%)	シェア(%)
ドライ	1,258,826	1,289,379	1,311,701	1,164,510	1,146,178	1,074,488	▲ 4.3	▲ 4.2	98.2
リーファー	19,003	19,061	20,647	19,771	22,434	20,159	▲ 7.2	▲ 0.1	1.8

(4) 仕出地および仕向地別輸送量

仕出地別では、中国積は4.5%減の77.4万TEUで9か月連続のマイナス、韓国積は12.7%増の7.3万TEUで5か月連続のプラス、日本積は19.3%減の3.6万TEUでベトナム積(0.4%増、4.8万TEU)およびタイ積(6.1%減、3.8万TEU)に抜かれ第5位となった。

表4：仕出地別輸送量（2015年11月、単位：TEU）

積み地	2015年11月				2015年累計			
	輸送量	シェア(%)	前年比 (%)	寄与度(%)	輸送量	シェア(%)	前年比 (%)	寄与度(%)
中国	774,061	70.7	▲ 4.5	▲ 3.2	9,674,089	72.0	▲ 4.0	▲ 2.9
韓国	73,191	6.7	12.7	0.7	876,613	6.5	5.4	0.3
ベトナム	47,935	4.4	0.4	0.0	516,798	3.8	▲ 0.1	▲ 0.0
タイ	37,873	3.5	▲ 6.1	▲ 0.2	436,750	3.3	▲ 4.3	▲ 0.1
日本	35,758	3.3	▲ 19.3	▲ 0.7	448,351	3.3	▲ 19.4	▲ 0.8
インドネシア	31,059	2.8	7.2	0.2	353,251	2.6	3.4	0.1
台湾	26,893	2.5	▲ 13.4	▲ 0.4	317,877	2.4	▲ 13.7	▲ 0.4
マレーシア	24,169	2.2	▲ 1.3	▲ 0.0	289,748	2.2	1.5	0.0
香港	23,422	2.1	▲ 27.1	▲ 0.8	291,434	2.2	▲ 24.6	▲ 0.7
シンガポール	7,459	0.7	▲ 19.4	▲ 0.2	87,249	0.6	▲ 18.9	▲ 0.1
カンボジア	6,652	0.6	38.2	0.2	63,830	0.5	26.3	0.1
フィリピン	4,337	0.4	▲ 1.3	▲ 0.0	53,245	0.4	▲ 2.2	▲ 0.0
ミャンマー	1,230	0.1	57.9	0.0	17,273	0.1	30.5	0.0
ブルネイ	13	0.0	▲ 31.6	▲ 0.0	159	0.0	▲ 28.1	▲ 0.0
ラオス	0	0.0	n.a.	0.0	0	0.0	▲ 100.0	▲ 0.0
その他	595	0.1	3031.6	0.1	3,252	0.0	1526.0	0.0
合計	1,094,647	100.0	▲ 4.3	▲ 4.3	13,429,919	100.0	▲ 4.4	▲ 4.4

※国の順番は2015年11月における輸送量の順になっている。

仕向地別では、英国揚は前年比 2.3%減の 15.6 万 TEU で 7 か月連続のマイナス、ドイツ揚は 13.0%減の 14.1 万 TEU、オランダ揚は 15.0%減の 12.2 万 TEU で 8 か月連続のマイナス。フランス揚は 2.4%減の 7.4 万 TEU で 6 か月連続のマイナスに、スペイン揚は 8.5%増の 6.2 万 TEU で 8 か月連続のプラスなどとなっている。ロシアは 8 月以降減少幅が縮小し、11 月は 2.4%増の 3.8 万 TEU となった (表 5 参照)。

表 5 : 仕向地別輸送量 (上位 20 カ国、2015 年 11 月、単位 : TEU)

揚げ地	2015年11月				2015年累計			
	輸送量	シェア(%)	前年比(%)	寄与度(%)	輸送量	シェア(%)	前年比(%)	寄与度(%)
イギリス	156,217	14.3	▲ 2.3	▲ 0.3	1,874,919	14.0	▲ 1.1	▲ 0.2
ドイツ	140,868	12.9	▲ 13.0	▲ 1.8	1,769,068	13.2	▲ 12.8	▲ 1.9
オランダ	121,954	11.1	▲ 15.0	▲ 1.9	1,438,973	10.7	▲ 13.5	▲ 1.6
フランス	73,995	6.8	▲ 2.4	▲ 0.2	876,712	6.5	▲ 0.2	▲ 0.0
スペイン	61,507	5.6	8.5	0.4	760,058	5.7	10.6	0.5
ベルギー	59,315	5.4	▲ 13.5	▲ 0.8	737,894	5.5	▲ 10.1	▲ 0.6
トルコ	58,415	5.3	0.1	0.0	724,352	5.4	3.5	0.2
イタリア	58,070	5.3	▲ 18.1	▲ 1.1	764,441	5.7	▲ 17.7	▲ 1.2
ポーランド	42,444	3.9	39.3	1.0	502,880	3.7	29.9	0.8
ロシア	37,874	3.5	2.4	0.1	485,479	3.6	▲ 14.3	▲ 0.6
エジプト	25,798	2.4	▲ 14.0	▲ 0.4	299,721	2.2	▲ 2.0	▲ 0.0
イスラエル	22,774	2.1	14.0	0.2	276,474	2.1	10.8	0.2
スウェーデン	21,812	2.0	▲ 9.2	▲ 0.2	275,621	2.1	▲ 3.4	▲ 0.1
アルジェリア	21,158	1.9	26.3	0.4	258,178	1.9	25.3	0.4
スロベニア	19,111	1.7	56.3	0.6	212,788	1.6	36.4	0.4
デンマーク	15,390	1.4	1.5	0.0	191,686	1.4	6.8	0.1
ポルトガル	11,285	1.0	49.5	0.3	118,303	0.9	30.4	0.2
フィンランド	11,105	1.0	▲ 13.9	▲ 0.2	153,048	1.1	▲ 19.1	▲ 0.3
モロッコ	10,051	0.9	24.9	0.2	123,770	0.9	20.9	0.2
ギリシャ	9,716	0.9	▲ 32.2	▲ 0.4	113,190	0.8	▲ 33.7	▲ 0.4
その他	115,788	10.6	▲ 3.5	▲ 0.4	1,472,364	11.0	▲ 5.2	▲ 0.6
合計	1,094,647	100.0	▲ 4.3	▲ 4.3	13,429,919	100.0	▲ 4.4	▲ 4.4

※国の順番は 2015 年 11 月における輸送量の順になっている。

2. 欧州復航 (欧州→東アジア・東南アジア)

(1) 輸送量

2015年11月のコンテナ貨物輸送量は、前年比9.5%減の53.3万TEUで4か月連続のマイナスとなった。1-11月の累計では0.5%減の632.3万TEUであった(表6及び別紙(図-2)参照)。

表6 復航の輸送量推移 単位:TEU

	2014年		2015年			
	単月	前年比 (%)	単月	前年比 (%)	累計	前年比 (%)
1月	554,558	4.7	503,963	▲ 9.1	503,963	▲ 9.1
2月	554,516	▲ 0.2	561,204	1.2	1,065,167	▲ 4.0
3月	615,076	4.7	617,478	0.4	1,682,645	▲ 2.4
4月	589,356	0.6	580,256	▲ 1.5	2,262,901	▲ 2.2
5月	603,620	5.4	624,735	3.5	2,887,636	▲ 1.0
6月	561,281	▲ 5.0	628,077	11.9	3,515,713	1.1
7月	590,813	▲ 1.7	629,405	6.5	4,145,118	1.9
8月	562,813	0.4	558,326	▲ 0.8	4,703,444	1.5
9月	553,227	▲ 3.6	528,330	▲ 4.5	5,231,774	0.9
10月	578,409	0.5	558,714	▲ 3.4	5,790,488	0.5
11月	588,639	2.9	532,575	▲ 9.5	6,323,063	▲ 0.5
12月	602,623	8.4				
計	6,954,931	1.4				

(2) コンテナタイプ別輸送量

表7: 欧州復航のコンテナタイプ別輸送量推移 (2015年5-11月、単位:TEU)

	Jun-15	Jul-15	Aug-15	Sep-15	Oct-15	Nov-15	前年比 (%)	寄与度(%)	シェア(%)
ドライ	588,275	586,278	514,281	478,954	505,677	480,380	▲ 10.6	▲ 9.7	90.2
リーファー	39,802	43,127	44,045	49,376	53,037	52,195	1.6	0.1	9.8

(4) 仕出地および仕向地別輸送量

仕出地別では、ドイツ積は8.9%減の9.5万TEU、オランダ積は14.5%減の5.4万TEUで共に4か月連続のマイナスに。英国積は27.2%減の4.1万TEUで、8月以来イタリア(7.1%減、4.2万TEU)に抜かれ第4位となっている。(表9参照)。

表8：仕出地別輸送量（上位20か国、2015年11月、単位：TEU）

積み地	2015年11月				2015年累計			
	輸送量	シェア(%)	前年比(%)	寄与度(%)	輸送量	シェア(%)	前年比(%)	寄与度(%)
ドイツ	95,393	17.9	▲ 8.9	▲ 1.6	1,110,010	17.6	▲ 4.8	▲ 0.9
オランダ	54,430	10.2	▲ 14.5	▲ 0.0	639,785	10.1	▲ 4.6	▲ 0.5
イタリア	42,178	7.9	▲ 7.1	▲ 0.5	501,759	7.9	3.6	0.3
イギリス	40,612	7.6	▲ 27.2	▲ 2.6	525,184	8.3	▲ 12.8	▲ 1.2
ベルギー	37,683	7.1	▲ 21.1	▲ 1.7	498,075	7.9	▲ 6.8	▲ 0.6
フランス	37,265	7.0	▲ 0.5	▲ 0.0	431,642	6.8	8.4	0.5
スペイン	33,356	6.3	4.6	0.2	360,103	5.7	15.0	0.7
トルコ	27,557	5.2	▲ 8.5	▲ 0.4	316,772	5.0	▲ 13.3	▲ 0.8
フィンランド	20,199	3.8	▲ 0.0	▲ 0.0	244,758	3.9	5.7	0.2
スウェーデン	17,585	3.3	▲ 6.1	▲ 0.2	209,771	3.3	1.5	0.1
ロシア	12,195	2.3	▲ 6.3	▲ 0.1	147,801	2.3	3.6	0.1
ポーランド	11,324	2.1	17.2	0.3	116,331	1.8	20.4	0.3
デンマーク	11,064	2.1	28.5	0.4	112,139	1.8	18.2	0.3
ウクライナ	9,262	1.7	▲ 28.9	▲ 0.6	110,604	1.7	▲ 16.5	▲ 0.3
スロベニア	7,946	1.5	12.9	0.0	94,336	1.5	34.1	0.4
ノルウェー	7,935	1.5	▲ 10.7	▲ 0.2	76,640	1.2	▲ 0.1	▲ 0.0
ラトビア	6,209	1.2	▲ 14.7	▲ 0.2	79,145	1.3	42.2	0.4
ポルトガル	5,724	1.1	13.2	0.1	71,386	1.1	20.6	0.2
リトアニア	5,274	1.0	▲ 26.2	▲ 0.3	77,212	1.2	8.4	0.1
ルーマニア	5,063	1.0	▲ 25.1	▲ 0.3	61,813	1.0	▲ 18.5	▲ 0.2
その他	44,321	8.3	0.0	0.0	537,797	8.5	6.6	0.5
合計	532,575	100.0	▲ 9.5	▲ 9.5	6,323,063	100.0	▲ 0.5	▲ 0.5

※国の順番は2015年11月における輸送量の順になっている。

仕向地別では、中国揚は8.5%減の28.2万TEUで3か月連続のマイナスに、日本揚は6.5%減の4.9万TEUで4か月連続のマイナスに、韓国揚は6.1%減の4.6万TEUで2か月連続のマイナスに、香港揚は15.2%減の2.7万TEUで12か月連続のマイナスなどとなっている(表10参照)。

表9：仕向地別輸送量(2015年11月、単位：TEU)

揚げ地	2015年11月				2015年累計			
	輸送量	シェア(%)	前年比(%)	寄与度(%)	輸送量	シェア(%)	前年比(%)	寄与度(%)
中国	282,145	53.0	▲ 8.5	▲ 4.4	3,355,468	53.1	2.8	1.4
日本	49,149	9.2	▲ 6.5	▲ 0.6	600,651	9.5	▲ 8.7	▲ 0.9
韓国	45,558	8.6	▲ 6.1	▲ 0.5	553,424	8.8	10.8	0.9
香港	27,395	5.1	▲ 15.2	▲ 0.8	300,985	4.8	▲ 12.0	▲ 0.6
マレーシア	21,432	4.0	▲ 8.8	▲ 0.4	249,644	3.9	▲ 7.5	▲ 0.3
ベトナム	21,354	4.0	7.2	0.2	223,104	3.5	13.3	0.4
タイ	20,339	3.8	▲ 19.3	▲ 0.8	255,136	4.0	▲ 2.1	▲ 0.1
シンガポール	17,315	3.3	▲ 16.6	▲ 0.6	205,781	3.3	▲ 14.7	▲ 0.6
インドネシア	17,100	3.2	▲ 26.3	▲ 1.0	218,142	3.4	▲ 14.3	▲ 0.6
台湾	16,594	3.1	▲ 19.9	▲ 0.7	194,673	3.1	▲ 9.6	▲ 0.3
フィリピン	9,993	1.9	▲ 6.5	▲ 0.1	125,199	2.0	2.8	0.1
ミャンマー	1,413	0.3	16.3	0.0	13,555	0.2	25.6	0.0
カンボジア	928	0.2	35.9	0.0	12,604	0.2	56.7	0.1
ブルネイ	184	0.0	▲ 14.4	▲ 0.0	2,499	0.0	3.7	0.0
ラオス	14	0.0	▲ 26.3	▲ 0.0	210	0.0	51.1	0.0
その他	1,662	0.3	109.3	0.1	11,988	0.2	73.0	0.1
合計	532,575	100.0	▲ 9.5	▲ 9.5	6,323,063	100.0	▲ 0.5	▲ 0.5

※国の順番は2015年11月における輸送量の順になっている。

3. 欧州航路運賃

(1) 往航：

上海航運交易所発表の12月の上海-欧州間のスポット運賃はUS\$668/TEUとなり、10月以降上昇に転じている。

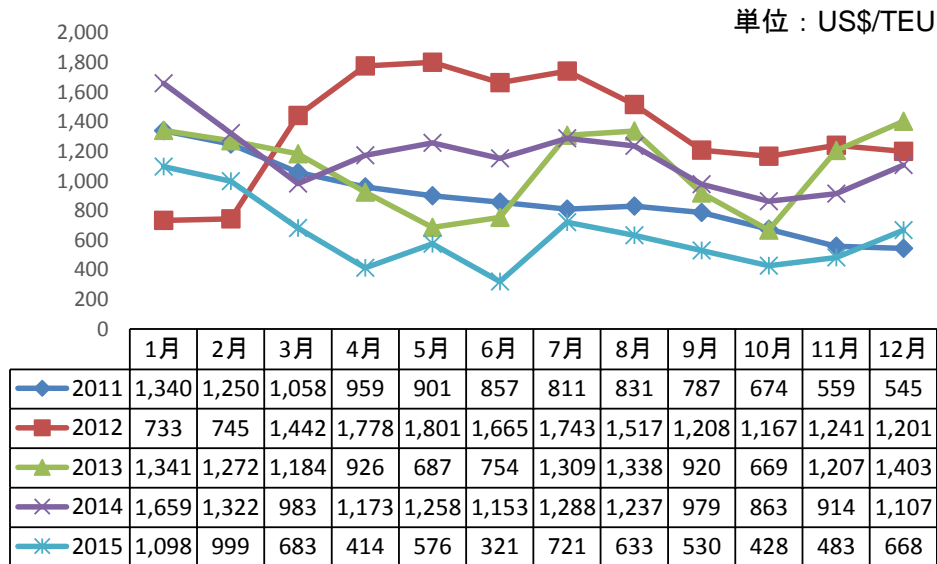


図 2-1：欧州往航（上海→欧州）の月別運賃推移（2011年1月-2015年12月）

データ出所：上海航運交易所および英クラークソン社

※地中海向けは含まれない

Drewry 発表の12月の欧州往航（塩田（中国）→フェリックスストウ（英国）間）の運賃は、ドゥルーリが記録を開始した2011年以来最低レベルで推移（図 2-2 参照）。10月以降上昇に転じている。

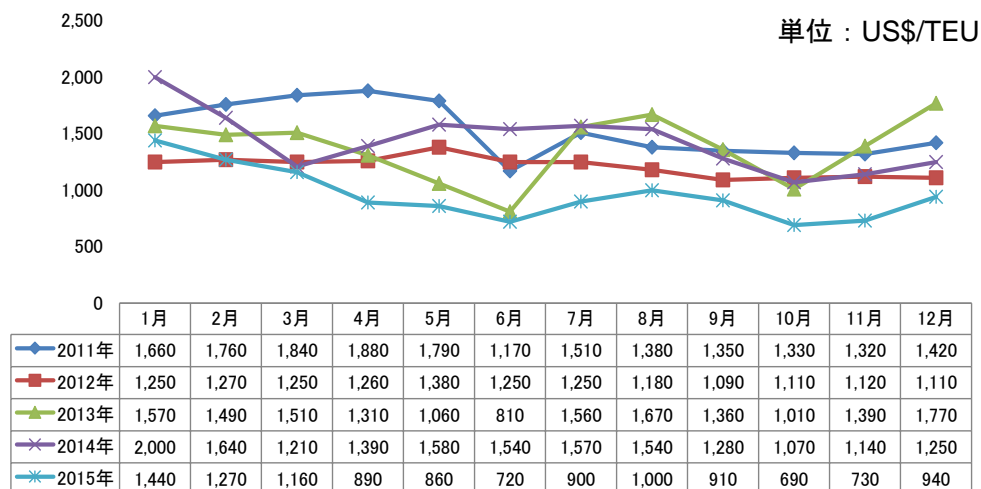


図 2-2：欧州往航（塩田→フェリックスストウ）の月別運賃推移（2011年1月-2015年12月）

データ出所：Drewry “Container Freight Rate Insight”

(2) 復航

Drewry 発表の欧州復航（フェリックスストウ（英国）→塩田（中国）間）運賃は2011年以降では最低レベルで推移。（図2-3参照）。

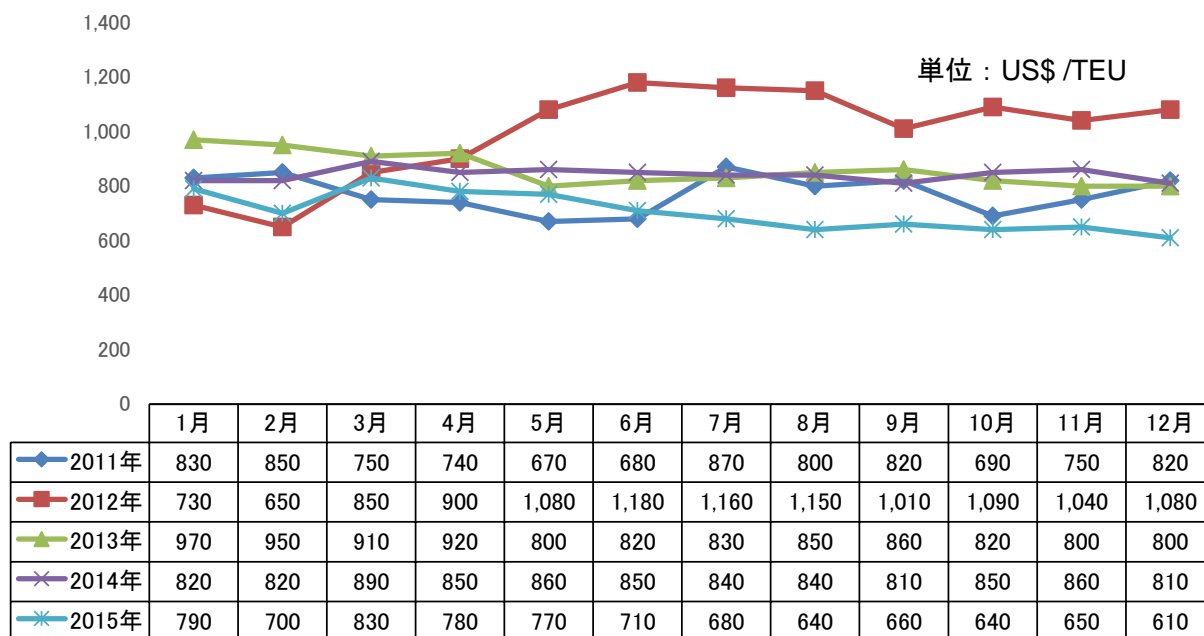


図2-3：欧州復航（フェリックスストウ→塩田）の月別運賃推移（2011年1月-2015年12月）

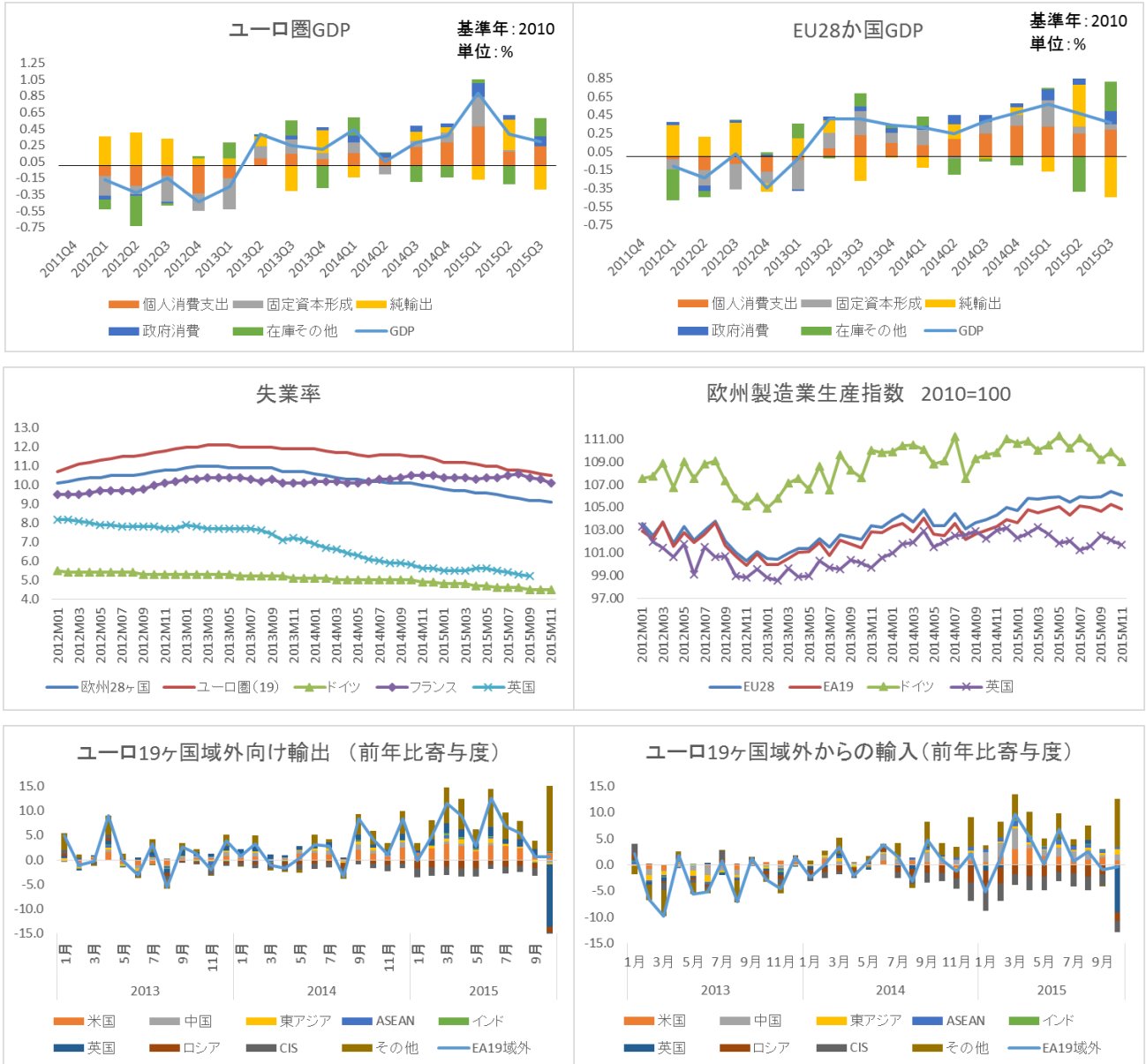
データ出所：Drewry “Container Freight Rate Insight”

(参考) 荷動きに関連する中国および欧州主要経済指標

2016年1月作成 欧州経済: 緩やかな成長

- ◆ EU28カ国およびユーロ圏18か国のGDPは低調ながらプラスを維持。
- ◆ 失業率は欧州全体は低下傾向にあり。
- ◆ 2015年に入り製造業生産指数は全般的に減少傾向を示す。
- ◆ 2015年は輸出入ともに増加傾向にあり。ロシアへの経済制裁を背景に、ロシアとの貿易額の減少は拡大している。
- ◆ 原油価格低下により、原油輸出国の景気に影響するリスクあり。

出所: EUROSTAT

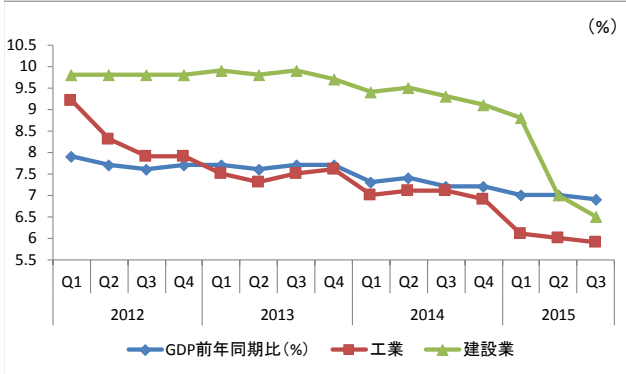


2016年1月作成 中国経済:低調

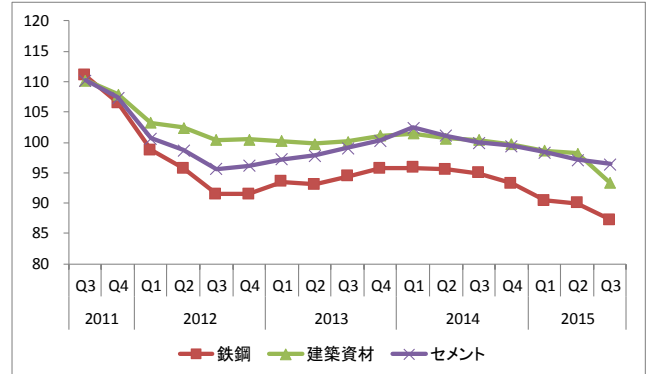
- ◆GDPは全体に下方修正された。第3四半期のGDPは6.9%（前年同期比）。
- 工業生産の落ち込みに加え、建設業が下降した。
- ◆2015年の住宅建設及び建設着工床面積は、2011年以来最低レベルで推移。
- ◆2014年夏以降減少していたPMI（製造業購買担当者景気指数）は、2015年は横這いで推移。
- ◆2014年以降生産者物価指数（農産物）、固定資産投資価格指数は低下傾向。

データ出所：中国国家统计局

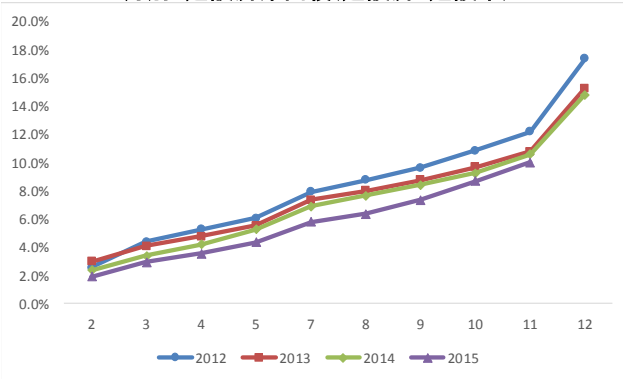
実質経済成長率



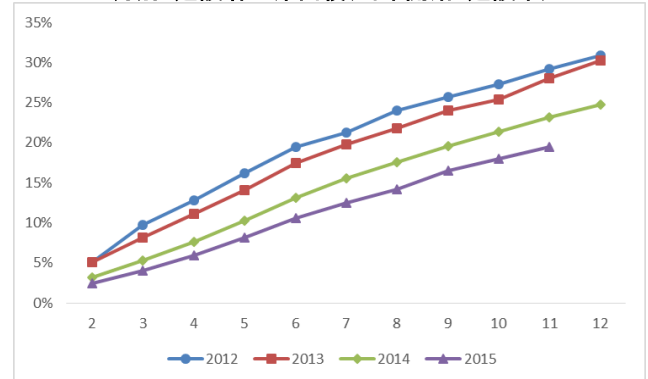
固定資産投資価格指数 (PI)



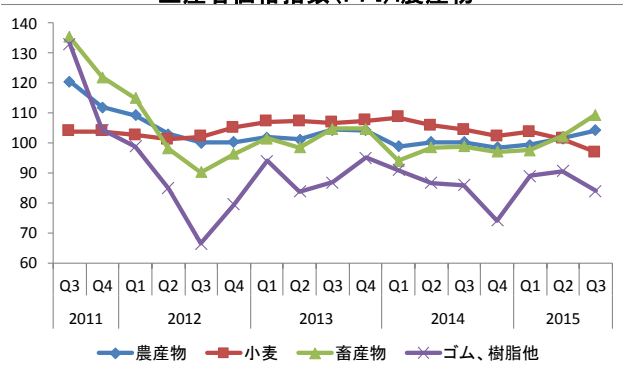
月別：建設済床面積(建設済/建設中)



月別：建設着工床面積(当年開始/建設中)



生産者価格指数 (PPI):農産物



製造業PMI

